

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や気持ち、相互関係などについて、叙述や描写を基に捉えることができる。 人物や物語の全体像を具体的に想像することができる。 言葉について理解し、様々な働きがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目してある項目に当たる数を求めることができる。 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる。 図形を構成する要素に着目して、その図形の意味や性質、構成の仕方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの最小公倍数をもとめること。 示された場面で、数量が変わっても割合は変わらないこと。 伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができる。 メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けている。 実験の方法を検討して、その過程や得られた情報を適切に記録することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や追加で収集した情報を基に、問題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えをもち、その内容を記述すること。 実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日しっかり食べて、決まった時刻に起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 人が困っていると、進んで助けたいと思い、人に役立つ人間になりたいと思っている児童が多い。 自分でやり遂げる粘り強さが身に付いている。 友達と協力することが楽しく、話し合いでも相手を尊重する気持ちをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の学習の重要性を理解しているが、好きでない児童が多い。 読書や新聞を読むなど、活字に親しむことに対して後ろ向きな児童が多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の大切さを理解している児童が多いが、好んで学習している児童が少ないことがこの結果から見る事ができた。子どもたちが興味・関心を高めて前向きに学習に取り組んでいけるよう、授業改善を進めていく。 自分の考えをまとめて話し合いに活かしたり、文章全体の構成を考えて整えたりすることに、苦手意識をもっている児童が多いことが分かった。根拠をもって自分の考えを文章で表したり、説明したりできるような機会を与え、思考力や表現力等の向上を図っていく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 割合について課題をもっている児童が多くみられた。児童が捉えやすい具体的な場面を提示するなど、分かりやすい授業を展開していきたい。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や実験で得た結果を、効果的に記述することに対して課題が見られた。記述の仕方を具体的に例示するなど、児童がまとめやすく記述ができるよう指導の充実を図っていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>学校へ楽しく登校できるように、子どもたちを日々支えていただき、誠にありがとうございます。</p> <p>1. 活字に親しむ機会を</p> <p>スマートフォンなど電子機器の普及により、活字離れが叫ばれている今日この頃です。成瀬小学校の児童においても例外ではなく、読書や新聞などを読む機会が減っていることが現実です。活字に触れることは語彙に親しむことになり、日本語の表現の豊かさを味わうために重要です。ご家族でも、お互いに読書に親しみ、感想を伝え合う機会を設けてはいかががでしょうか。</p> <p>2. 学習の前向きさを大切に</p> <p>学習の重要性を理解している児童が多く、私たち教職員も嬉しく思います。今回は理科の状況調査もありましたが、本校では理科に対してとても前向きに学習を進めている児童が多く見られました。「理科離れ」が進む中で、とても喜ばしい結果となりました。観察や実験に対して、予想を立て、結果をまとめるという学習が進められていますが、そのまとめることに対して課題が見られました。理科に限ったことではありませんが、学習した内容を自分の言葉でまとめることはとても大切なことです。児童の前向きな姿勢を活かしながら、これからも楽しい授業に取り組んでいきたいと考えております。</p>
